



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 佐藤 政司
幹事 小熊 東
SAA 川口登志雄
会報小委員長 今泉 敏徳

○例会日 毎週水曜日(12:30 ~ 13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目 6 番地の 9
○例会場 ホテルミドリ TEL 974 - 8261 ホテルミドリ内 TEL0246 - 62 - 3737

2017 - 18 年国際ロータリーのテーマ

ロータリー:変化をもたらす

第 2700 回 例会 平成 29 年 7 月 19 日(水・晴)

会員卓話

今泉 敏徳 会員

ロータリーソング 奉仕の理想

4 つのテスト
高萩 勝利 会員



◎会長報告 - 佐藤政司会長

皆さん、今日は。第 2700 回の記念すべき例会日に新しく我々の仲間になる新入会員をご紹介致します。日本製紙の大市さんの後任の木村義英様です。後程詳しくご紹介をお願いします。会長報告ですが先週第 1 回会長幹事会があり出席致しました。内容は予算等についてですが小熊幹事より報告があるかと思えます。それから今日の新聞に掲載されていましたが、7 月 18 日午前、聖路加国際病院の名誉院長の日野原重明さんが 105 歳で逝去されました。私も興味があり少し調べてみました。早くから予防医学の重要性を説き、民間では初となる人間ドックを同病院に開設しました。最初にやったのは「家庭での血圧測定」、当時血圧測定は「医療行為」とされていました。しかし、普段から予防する為に自分の血圧を知っていなければならない。1 番目に予防医学を取り入れた方です。高血圧、高脂血症は普段の生活習慣が原因でこれを改めれば予防出来て、人々の病気に対する考え方が変わります。「成人病」を「生活習慣病」と名前を改めました。また終末医療にも力を入れられ、過度の延命治療は「医者金儲けである。」と言って、「チューブにつながれ、家族と別れの言葉も交せない。患者に尊厳はあるのか。」と手厳しかったそうです。3 月末に自分自身消化器系が悪化したのが延命処置の提案を断わり、自宅で介助を受けていました。日野原さんは「日本にメディカルスクール(米国型)医師養成機関を作ることと東京五輪を見ること」が夢だっ

たそうですが、かないませんでした。105 歳まで生きた日野原先生と比べてはおかしいですが私も少しでもロータリーを改革したいと思えます。

◎新入会挨拶



日本製紙(株)勿来工場

工場長 木村 義英 様

皆さん、今日は。日本製紙(株)勿来工場工場長として赴任して参りました木村と申します。生まれは神戸で昭和 34 年生まれの 57 歳です。家族は東京で単身で勿来に来ています。前任地は北欧のフィンランドです。今回縁あって第 2700 回の例会日に入会させていただくことになりました。今後いろいろと皆様にご指導いただければと思います。宜しくお願いします。



◎幹事報告 - 小熊 東幹事

・国際ロータリー青少年奉仕セミナーの開催の文書が届いております。
・地区大会記念ゴルフコンペのご案内ということで日

程のご案内が届いております。

- ・次期地区委員会総会の御礼が文書で届いています。
- ・岡崎南ロータリークラブから週報、いわき内郷ロータリークラブから 7 月プログラムが届いておりますので回覧中です。
- ・日本製紙(株)大市前会員より御礼の手紙が届いています。回覧中ですので御覧下さい。
- ・本日例会終了後臨時理事会を開催致しますので理事者の方はお残り下さい。
- ・7 月 13 日に会長幹事会が開かれ、パレスいわやへ行って参りました。内容はガバナー公式訪問の中で歓迎会を行うということになっています。またクラブの分担金、いわき分区分の予算(案)の話がありました。

◎各委員会報告

◇出席委員会 - 大平小委員長

本日の出席状況は前頁下記の通りです。なお、本日は出席奨励賞をお渡し致します。高田会員、高橋会員前の方へどうぞ。



◇スマイルボックス委員会 - 高木孝道小委員長

- ・新入会員の木村義英様の入会を歓迎して。富澤、生駒、高木、高萩、岩元、富岡、押田、赤津(善)、荒川(義)、越田和、添田、鈴木敏広、影山川口、蛭田、関川、阿賀、鈴木(修)、佐藤智子(のりこ)、星、渡邊(公)、大平、山下、林各会員及び佐藤政司会長、木幡副会長、小熊幹事、嵐副幹事
- ・本日より入会致します。よろしくお願ひします。

木村義英会員

- ・出席奨励賞ありがとうございました。

高田、高橋各会員

- ・誕生祝ありがとうございます。 中野会員
- ・ゴルフ愛好会で先月優勝しました。 矢代会員

◎会員卓話

- 今泉敏徳クラブ会報小委員長

私共の会社福島民報社は 1892 年 8 月 1 日に創刊し、今年創刊 125 周年を迎えます。創刊号の紙面をご紹介しますと、鳥という字が旧字



体で福島民報社という上の文字も右から読みます。ここに「福島民報社の発刊を賀し併せて記者諸君に告ぐ 犬養毅」とありますが昨夜少し調べまして、時の内閣総理大臣からコメントが掲載されていて凄いなと思いましたが、残念ながら 1890 年に初めて犬養さんは議員に当選されということなのでこの時は一議員でした。そもそも当社の経緯といたしまして、自由党の機関紙として創刊したのでこのような犬養さんの掲載になったのではないかと思います。今現在は福島市に本社、郡山市に郡山本社があります。県外の支社が東京、大阪、仙台の 3 つ、県内に支社が会津若松支社、いわき支社等併せて 8 つ、そして支局ですがここ勿来支局、小名浜支局等があります。この支局はひとりで記事、営業などもするもので全部で 15 の支局がございます。私は 2006 年に入社致しまして、本社の広告局営業部に配属されました。入社試験の時から広告部門が編集部門に分かれて入社試験を受ける形で、私は最初から広告部門を選考し、同期としては広告局は私ひとりだけの入社でした。2 年後の 2008 年に会津若松支社に転勤し、2011 年 5 月に東京支社、2015 年 4 月に本社に戻り、今年春から勿来支局勤務となっております。2011 年の東京支社時代の話をしますと東京支社の人員は支社長 1 人、報道部で 2 人、営業部は私を含めて 6 人、事務経理の嘱託の方が 1 人です。報道部は国会で県選出議員の動向や福島県関係の政策発表があるときに取材したり、福島県でのイベントの取材をします。私がいた営業部は大手広告代理店との折衝が主な仕事です。東京支社の 1 年目、2 年目は出版広告、通販広告を担当しました。新聞の 1 面に載っているものが主なものです。3 年目と 4 年目は出版通販広告以外の雑品広告をしておりました。次にスマイルというプロジェクトですが新聞の後ろの方の頁に県内の子ども達の笑顔を載せているスマイルふくしまというコーナーがあります。2011 年震災復興プロジェクトとして当社が独自にスタートしたもので、主旨として震災で元気が無くなった県民を励まして笑顔になってもらい、その笑顔を全国に発信することを目的に始まったもので、翌年には被災 3 県の新聞社に広がりスマイルとうほくプロジェクトとして今も活動は続いています。福島民報社は新聞を作る会社ですが福島を応援する地域作り会社を掲げています。紙面を通して地域の活力を伝え活性化を促し、地元企業の応援掘り起し読者の方に知ってもらう等地域に貢献して行きたいと思っておりますので情報提供など宜しくお願いします。

出席状況

正会員数
本日の出席率

56 名
78%

本日出席会員数

39 名